

高木家の由来

高木家は大和高木村の出で、伊勢を経て、享禄元年(1528)に美濃に移ったとされます。高木貞政・貞久のときに斎藤道三・織田信長に仕え、美濃南部の駒野・今尾を拠点としました。

その後、一時甲斐に赴きましたが、徳川家康に召し出され、慶長2年(1597)上総などで所領を与えられました。

関ヶ原の戦いの功により、慶長6年に美濃のとき・多良(現大垣市上石津町時・多良地区)の地を拝領し入郷しました。貞久の子である貞利(西高木家)が2,300石、貞友(東高木家)が1,000石、貞俊(北高木家)が1,000石を領し、それぞれ陣屋を構えました。

交代寄合美濃衆

高木家の石高は三家で4,300石でしたが、交代寄合として大名(10,000石以上)の格式を許されると同時に、特別な役儀を負いました。

また、常時知行地の多良に居住し、参勤交代を義務づけられていました。

高木家の役儀

高木家の領した時・多良は、美濃と近江・伊勢との国境で、その警固は役儀の一つでした。

また、木曾三川の治水行政にあたる川通御用としての役儀も重要なものでした。

宝永2年(1705)より幕末まで、水行奉行として笠松代官所と連携し、美濃・伊勢・尾張の諸河川の管理(巡視・調停など)にあたりました。



西高木家陣屋跡
(上石津郷土資料館)

指定名称 西高木家陣屋跡
指定年月日 平成26年10月6日
所在地 大垣市上石津町宮236番地1 ほか12筆
面積 17,489.42㎡

問い合わせ先

大垣市教育委員会文化振興課

〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2丁目55番地

Tel.0584-47-8067(直通)

ホームページ <http://www.city.ogaki.lg.jp/>

上石津郷土資料館

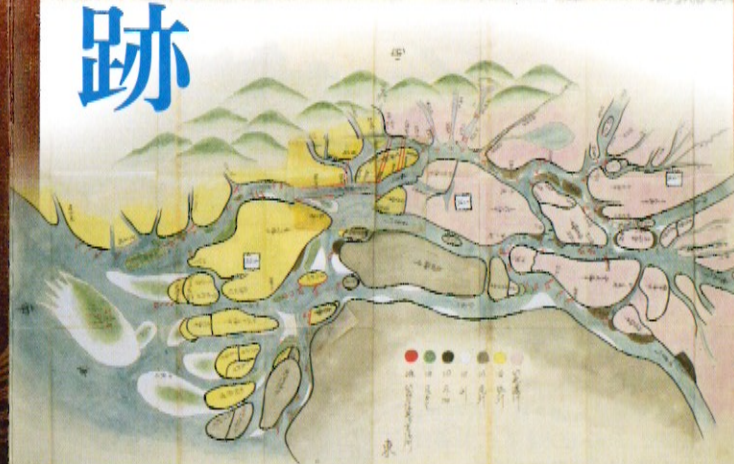
〒503-1625 岐阜県大垣市上石津町宮237番地1

Tel.0584-45-3639

長屋門 嘉永5(1852)年建造の下屋敷御門を移築

史跡 西高木家陣屋跡

にしたかぎけじんやあと



『普請目論見絵図』(名古屋大学附属図書館蔵)



埋門跡